

市民が考える町田の行財政 その1

『町田の財政』を読む！

町田市では、「まちだ未来づくりプラン」に基づく後期「5ヵ年計画17-21」が策定されました。また、「町田市公共施設等総合管理計画（実行計画）」の策定が進められています。ここでは、図書館や博物館、自由民権資料館、市民文学館など多くの生涯学習関連施設について、再編・統合、存廃の可否、民間活力の導入などが明記されようとしています。

人口減少や高齢化の進展による税収の落ち込みに加えて、これから増大が見込まれる社会保障費や公共施設の維持管理経費などにより、市の財政が危機的な状況になるというのが理由のようです。この間、図書館資料費が大幅に削減されているのも背景は同様と考えられます。

市民生活に不可欠な図書館、また町田らしい文化発信拠点としてユニークな活動を展開してきた文学館などの施設について、これからも拡充させていかなければなりません。

そこで、これからシリーズで、町田の行財政について市民の視点から考えてみたいと思います。当面は図書館を中心にした文化施設にスポットを当てて、掘り下げてみたいと思います。第1回は、財政状況の全体をつかむため、講師の解説のもと『町田市の財政』を読みます。奮ってご参加ください。

日時： 2017年3月10日(金) 18時～20時

会場： 町田市立中央図書館6階ホール

内容：『町田市の財政』（発行：町田市財政課）の読み方とそこから見えてくるもの

講師：伊藤久雄さん（東京自治研究センター特別研究員・NPO 法人「まちぼっと」理事）

参加費：300円（資料代）

主催：まちだ自治研究センター／町田の図書館活動をすすめる会

※参加申込は、3月3日(金)までに下記宛交換便または FAX でお願ひします。

【自治労町田市職員労働組合内 まちだ自治研究センター】

電話 042-724-2194 または町田市役所内線 5739 FAX042-724-5903

きりとり

学習会「市民が考える町田の行財政」参加申込書

職場・団体名

(

氏名

)

(

)